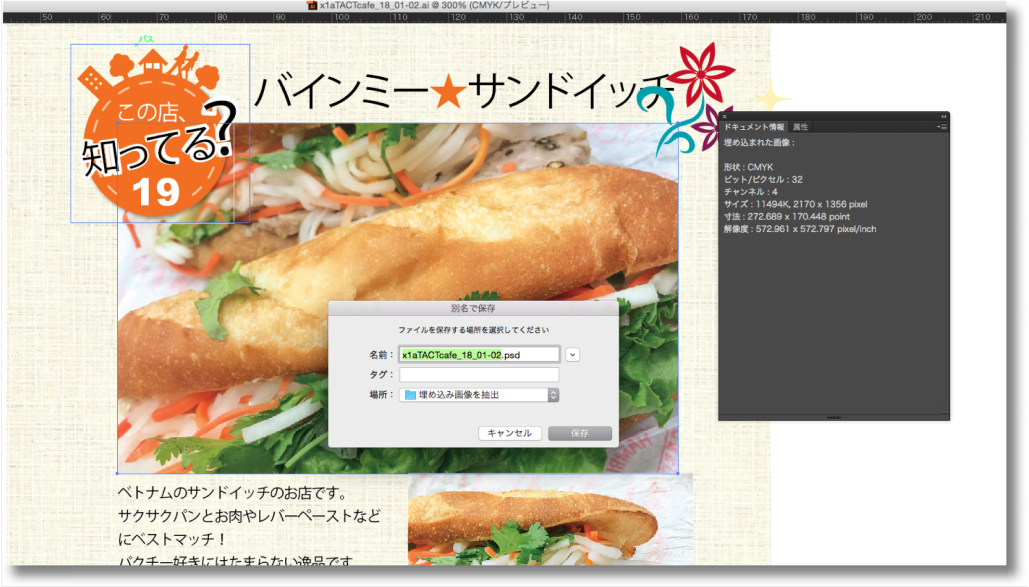


埋め込み画像を抽出

Illustratorドキュメントにて選択した埋め込み画像を解像度を保持したままファイルに書き出すJavaScriptです。
Macintosh／Windowsで使えます。



■ インストール（Mac／Win共通）

- Adobe Illustrator [バージョン]/プリセット/スクリプト
にこのスクリプトを入れて、Illustratorを再起動してください。

■ 使い方

- Illustrator 上にてドキュメントを開いた状態で、対象となる埋め込み画像を選択し「ファイルメニュー／スクリプト」から「exportImage」を選択し、画像を保存する場所を指定するダイアログがあらわれるので任意の場所とファイル名を設定します。
- 選択した画像が埋め込み画像であれば書き出し処理が始まります。
 - ・画像が回転している場合は、角度を調節します
 - ・画像の解像度を計算し、72x72dpiに調節します
 - ・上記の調節を反映した状態で、Photoshopファイルへの書き出しを行います

■仕様

- JavaScript で Adobe Illustratorを操作します。
- 選択されたオブジェクトが埋め込み画像の場合のみ稼働します。
 - matrixプロパティにてinvertコマンドをおくっています。
 - 埋め込み画像を新規ドキュメントへ複製します。
 - 新規ドキュメントは埋め込み画像を書き出すための暫定用です。
埋め込み画像のカラースペースがRGB以外の場合は、新規ドキュメントのカラーモードはCMYKとなります。
 - Photoshopファイルの書き出し設定は以下の通り。
 - ・アンチエイリアス：オン
 - ・カラーモード：埋め込み画像のカラースペース
 - ・テキストの編集機能を保持：オン
 - ・ICC プロファイルを埋め込む：オフ
 - ・編集機能を最大限に保持：オフ
 - ・解像度：スクリーン(72 ppi)
 - ・書き出し設定に矛盾があった場合の警告ダイアログ：オフ
 - ・レイヤーを保持：オフ
 - 作業が終了してもオリジナルのドキュメントは変更されません。
 - CS3, CS4, CS5.1, CS6, CCにて作成されたドキュメントにて検証済み。

■動作環境

- 推奨動作環境…Mac OS X Lion（v10.7.5）／Windows
- 対象アプリケーション…Illustrator CS3以降

■履歴

- 2009年11月9日…AppleScriptにて最初のリリース。
- 2011年6月24日…少々のバグフィックスを改良。
- 2012年6月27日…JavaScriptに書き換え。
- 2015年6月1日…実行専用型に再コンパイル。

■利用規約・免責事項

- スクリプトは無償配布ですが、著作権はタクトシステム株式会社（以下「弊社」といいます）に帰属いたします。
- スクリプトの二次配布はご遠慮ください。入手は最新版の配布個所として弊社WEBサイトからのダウンロードを推奨します。
- スクリプトの使用による損害や弊害についても弊社は一切の不具合・不利益・責任は負わないものとします。
- スクリプトは日本語環境のオペレーティング・システムで使用してください。
- スクリプトのバージョンアップ義務は負わないものとします。
- スクリプトの公開は予告なく変更または中止することがあります。
- スクリプトを雑誌、書籍などで紹介・転載する場合は必ず弊社までご連絡ください。

■制作環境

- Mac mini
- Mac OS X Lion 10.7.5

Apple、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

Adobe、Adobe InDesignは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。

スクリプトについてのお問い合わせは <http://www.tactsystem.co.jp/> のお問い合わせフォームにて受け付けます。